

⑤ 「多文化共生社会を実現するために」(外国籍県民の人権)

実践する場面

- (1) 対象者 人権教育担当職員、行政職員、地域住民等
 (2) 所要時間 90分

活動のねらい(ポイント)

多様な文化や習慣の違いについて理解を深め、誰もが住みやすい社会の実現について考える。

準備するもの

アイスブレイキング用の紙(線を1本描いておく)、ワークシート、相談カード

進め方(展開例)

時間	学習の流れ(活動・内容)	留意事項	備考(資料)
導入 20分	<p>◆学習の確認(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会のねらい ・日程 ・参加体験型学習における約束 <p>◆アイスブレイキング(15分) 「みんなで、一筆書き」</p> <p>①1本の線が描かれている紙に、最初の人 が「一筆書きになるように」線につなげ て一筆加える。</p> <p>②順番に一筆書きになるように、前の人の 描いた線に続けて、一筆ずつ加える。 何を描こうとしているのかを推測しあい ながら描く。(声は出さない) 2周回して絵を完成させる。</p> <p>③できあがった絵を掲示する。</p> <p>④グループごとに自分たちが何の絵を描い たか、声を合わせて発表する。</p> <p>⑤ふりかえりを行い、感想を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・[参加体験型学習の約束]の内容 を伝える。 →P. 4(5)の1参照 ・相談カードが4種類なので、4 人グループがよい。 ・あらかじめ線が1本描いてある 紙を配付する。 ・何の絵を描いているかについ ては、発表のときまで話さないこ とを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイスブ レーキ ング用 の紙
展開 65分	<p>◆アクティビティ1(15分) 「世界の文化を知ろう」</p> <p>①個人で考えた後、グループ内で意見交換 する。</p> <p>②答えを確認したり、他にどのような例が あるかや、感じたことを出し合う。</p> <p>③グループで出た意見を全体に発表し、共 有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを配付する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシ ート →P.39

・言葉を使わずにコミュニケーションすることの難しさや、他の人の考えや気持ちを推し量
 ったり想像したりすることの大切さについて考える。

・イメージや思い込みで外国籍の人を見るのではなく、それぞれの文化や生活習慣等の違
 いを知ることが大切であることを確認する。

時間	学習の流れ（活動・内容）	留意事項	備考（資料）
	<p>◆アクティビティ2（45分） 「私たちにできることは・・・」</p> <p>①グループに配付された相談カードの中から、内容を見ないようにしながら、1人がカードを1枚引き、黙読する。</p> <p>②言葉を使わずに、カードの内容を身振りで表現したり、絵を描いたりして他の人に伝える。</p> <p>③事例を読み上げ、内容を確認する。（全員②③を行う。）</p> <p>④全体で、何名かに感想を聞く。</p> <p>⑤それぞれの事例について、外国籍の人にとってどのような工夫や手立てがあればよいか考える。</p> <p>⑥グループで出た意見を全体に発表し、共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相談カード 1～4を配付する。 ・言葉によるコミュニケーションができないと、困る点について確認をする。 ・地域や機関等でどのような支援ができるかなども考えるよう促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談カード →P.40
まとめ 5分	<p>◆ふりかえり（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクティビティ1・アクティビティ2をとおして考えたこと、気づいたことを中心にふりかえる。 ・グループで出た意見を全体に発表し、共有する。 		

- ・外国籍の人の不安や不便さに気づき、安心して暮らせる環境を整備していくことの大切さに気づく。
- ・災害時の対応等、組織的な取組も必要であることに気づく。

- ・多文化共生社会の実現のためには、多様な文化や民族の違いを理解して認め合うとともに、安心・安全な暮らしやすい環境を整備することが大切であることに気づく。

<参考資料など>

「人権学習ワークシート集Ⅳ－人権教育実践事例・指導の手引き（高校編 第13集）－」神奈川県教育委員会（平成22年）

世界の文化を知ろう

次の1～4は、どこの国の文化でしょうか。下のワクから選んでみましょう。

1. 人の頭は「精霊が宿る場所」として神聖視されている。そのため、他人の頭を触ることとは大変失礼になる。

2. ハサミは縁を切る、ハンカチは涙を拭くなど、悲しみにつながると考えられるので、プレゼントにはしない。

3. 食事のマナーとして、「器を持ち上げて食べない。」や「汁物はスプーンで食べる。」、「食事中は目上の人の食べる速さに合わせる。」などがある。

4. カーネーションは葬式で飾る花として使われることが多いので、プレゼントにはしない。

ドイツ タイ 韓国 ブラジル

世界の国の文化や風習で、他に知っていることはありますか。

答え

1 タイ 2 ブラジル 3 韓国 4 ドイツ

<参考資料など>

タイ国政府観光庁ホームページ

韓国観光公社ホームページ

「文化のちがい 習慣のちがい」学研教育出版（2012年2月）

「私たちにできることは・・・」

相談カード1 【医療機関】

昨日からお腹が痛いので、診察をしてほしいです。
薬は、粉薬が苦手なので、錠剤の薬にしてください。

相談カード2 【買い物】

卵アレルギーのある家族がいるので、卵アレルギーの原因となる材料が使われているかどうか、教えてください。
塩分量や添加物も知りたいです。

相談カード3 【地域】

家のポストの中に「ごみは、資源物しげんぶつと分けて出わしてください。」と書かれた紙が入っていました。

ひらがなは読むことができますが、意味がよく分かりません。

※「ごみは、しげんぶつとわけてだだしてください。」は声に出してよいです。

相談カード4 【災害】

母国では地震が起きないので、地震が起きたときの逃げ方を教えてください。

<参考資料など>

「人権学習ワークシート集Ⅳ—人権教育実践事例・指導の手引き（高校編 第13集）—」神奈川県教育委員会（平成22年）